

NTS2009年度ブロック・センタートレーニングへの推薦について

1. NTSの趣旨

将来日本の代表選手として世界と戦うことができる選手の発掘と育成
指導者への情報提供及び指導者の育成

2. アンダーナショナルチーム代表選手選考過程

各都道府県協会	規定人数をブロックトレーニングに推薦
ブロックトレーニング	トレーニング実施後、推薦選手選考審議会に規定人数を推薦
センタートレーニング審査会	絞込み(2006年度 50名 30名)
センタートレーニング	トレーニングを実施しながら、強化指定選手を選考
年代別強化指定選手	将来の代表候補選手として各年代5名前後を選出(3ヶ月ごとに見直し、入れ替え)
JHAアカデミー	原則的に該当年代の全強化指定選手を招集
日本代表・国際大会	強化指定選手の中から随時入れ替え大会へ

3. センタートレーニングへの選考基準

第1選考基準

- ・ 日本国籍を有している選手
- ・ 日本ハンドボール協会、強化部会から推薦を受けている選手

第2選考基準

- ・ センタートレーニング形態的特長基準を上回る選手
- ・ センタートレーニング運動能力的特長基準を2項目以上、上回る選手

第3選考基準

- ・ 技術戦術的特長を有する選手
- ・ その他の理由で推薦に値する選手(左利き、リーダーシップ、 はクリアーしないがクリアーに近い選手・・・など)

4. 各都道府県協会におけるブロックトレーニングへの推薦について

ブロックトレーニングへの推薦は必ずしも上記の選考基準をクリアーしている必要はありません。
ただし、推薦選手選考会における選考基準を考慮し、推薦理由を明確にして推薦してください。
特徴のある選手、一芸に秀でる選手を推薦してください。

日中韓交流大会選抜選手について(参考)

- (1)各都道府県協会よりブロックトレーニングへ推薦されていること。
- (2)センタートレーニングへの選考基準第1～3のいずれかに準ずる者であること。
- (3)日中韓交流大会に参加する選手はブロックトレーニングへの参加を免除する。

5. 各ブロックにおけるセンタートレーニング審査会への推薦について

各ブロックにおける推薦は、NTSスタッフ(技術委員長、運営委員、コーディネーター、中体連委員、高体連委員、インストラクター)4名以上で話し合い、技術委員長が責任を持って行ってください。

推薦者メンバーはブロックトレーニング実施前に決定してください。

センタートレーニングへの推薦選手はブロックにて推薦順位を決めてください。

日中韓交流大会に参加する選手はセンタートレーニングへ推薦してください。

センタートレーニング審査会にて人数の絞込みを行います。

以上